

特許抄録

第 20 卷 第 6 號 昭和 9 年 6 月

セメント建造物防水法

(特許第 105402 號, 出願 8-6-3, 公告 8-12-20,
特許 9-3-16, 特許權者(發明者)安田保藏氏,
特許權者坂本鎮雄氏)

この發明は、建造物のコンクリート又はモルタル壁面を熱した上、別に熔融せる木蠟、石蠟、樹脂等の防水性油脂を塗布浸潤せしむる方法である。

試錐機に依る地下状態探知法

(特許第 105465 號, 出願 8-6-22, 公告 8-12-27,
特許 9-3-23, 特許權者(發明者)神島武之助氏)

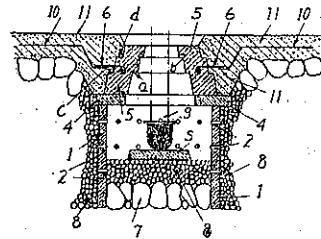
この發明は地下工事に用ふるセメント乳の注入量その濃度並に注入の壓力の推定に助せんとするものであつて、従來の試錐機を用ひ、掘進に際して生ずる切屑を試錐機用ポンプより注入せる壓水を以て孔外に上昇せしむる場合、ポンプに依る一定壓の注入水を任意の流量計に依つて測定しつゝ供給し又孔外に上昇したる水の量及び壓力をも亦任意の流量計及び壓力計に依つて測定し、これ等注入及び排出水の量及び壓力の差異並にコアの性質の比較に依つて地下状態を探知せんとする方法である。

水壓利用下水栓塞方法

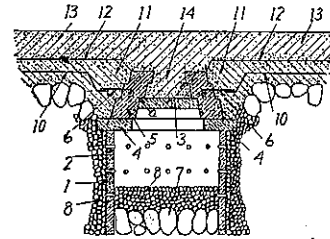
(特許第 105514 號, 出願 8-10-28, 公告 8-12-27,
特許 9-3-27, 特許權者(發明者)高田常一氏)

この發明は通水孔を有する井戸側等の集水筒(1)を涌水箇所挿設しその底部並に外周に石塊砂礫等を填め、内部に後に閉塞栓となるべき引上げ可能となしたるコンクリート、木材、金屬製等の栓體(3)を容置し、上部に環狀縁枠(4)を設け、該枠上に截頭圓錐形等の上部狭窄せる栓塞用筒體(5)を載置し、その上部より集水筒内に排水管(9)を挿入して湧水を排除しつゝ栓塞用筒體(5)の周圍に防水劑混入の捨コンクリート層をその上にアスファルト防水層、押コンクリート層を打ち(第 1 圖参照)、全體の凍結を待つて排水管(9)

第 1 圖



第 2 圖



を取去ると共に集水筒體の栓體(3)を栓塞用圓筒體内に引入れこれを湧水々壓に依り押壓閉塞せしめて噴水を阻止しその上にコンクリートを充填せしむる方法である(第 2 圖参照)。

ポルトランドセメント製造法

(特許第 105594 號, 出願 7-12-13, 公告 8-8-8,
特許 9-4-4, 發明者, 栗原鑑司氏, 渡邊文平氏,
特許權者南滿洲鐵道株式會社)

この發明は生油頁岩に石灰石又はその均等物を加へて濕式又は乾式にて粉碎し、セメント燒成爐内に装入し燒成帶に於て油分その他の含有炭素質物を燃焼せしめこれを燒成してポルトランドセメントを製造する方法である。

舗装道路築造方法

(特許第 105658 號, 出願 7-4-18, 公告 8-10-6,
特許 9-4-11, 特許權者(發明者)高野政造氏,
特許權者龍川登耶氏)

この發明は適當なる路面上にコンクリート材料を敷

置したる後直ちに豫め含水瀝青乳劑中に潜出し同乳劑の被覆を以てその表面一體を包ましめて成る骨材を敷均し次で轉壓固結せしむる方法である。

地下建造物の擁壁構成方法

(特許第 105661 號, 出願 7-10-17, 公告 8-11-8,)
(特許 9-4-11, 特許權者(發明者)木田保造氏)

この發明は地下建造物を施行すべき敷地内に適當なる機杵 (1), (2), (3), (4) を樹立し, 土壤を掘鑿して移

動土溜板 (5) を下降せしめ, 該移動板の内側に土留擁壁 (8) を下部より順次接續すると共にこれが接續に際しては土壤の崩壊を防止する爲, 移動土溜板 (5) の上縁が土留擁壁 (8) の下縁に係止する状態に於て接續せしめて擁壁を構成する方法である (第 3 圖参照)。

第 3 圖

